

ダムの紹介（写真・容量配分図・概要）

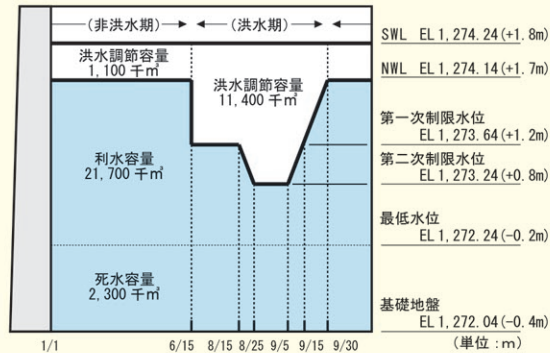
本県では利根川水系で3つのダム（中禅寺ダム・三河沢ダム・松田川ダム）、那珂川水系で4つのダム（西荒川ダム・塩原ダム・寺山ダム・東荒川ダム）を管理しています。このほか県内には、国土交通省、（独）水資源機構、農林水産省、栃木県農政部、栃木県企業局、民間事業者が管理するダムがあり、洪水調節や既得取水の安定化と河川環境保全等のための流水の確保、発電などの働きをしています。

ここでは本県が管理する7つのダムについて、写真・容量配分図（ダムに貯留した水の配分）・概要により、特色や働きを紹介します。

中禅寺ダム



■容量配分図



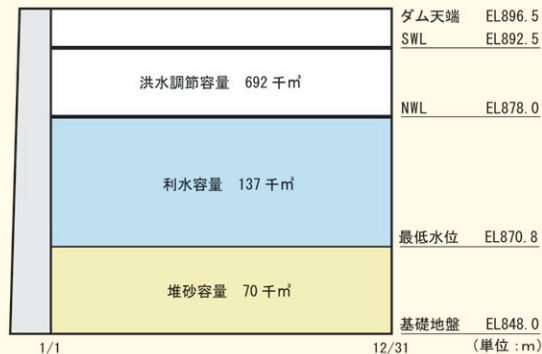
■概要

中禅寺ダムは昭和34年度に日光市中宮祠にある中禅寺湖の下流に建設されました。その後、平成3年度から平成11年度にかけて、中禅寺ダム再開発事業として洪水調節におけるダムの管理機能の改善が進められました。洪水調節・既得取水の安定化と河川環境保全等のための流量の確保・発電用水の開発を行っています。ダムから流れ出た水は流下して、日本三名瀑の華厳滝となっています。

三河沢ダム



■容量配分図



■概要

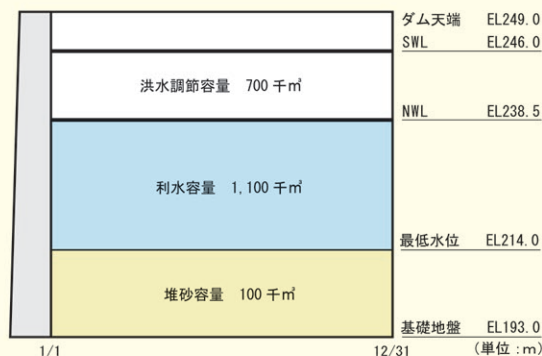
三河沢ダムは平成15年度に日光市三河沢に建設された洪水調節用ゲートが無い自然調節方式のダムです。洪水調節・既得取水の安定化と河川環境保全等のための流量の確保・水道用水の開発を目的としています。

三河沢ダムの周辺にはブナやミズナラが群生し、ツキノワグマ・クマタカなどの大型動物やイワナやヤマメなどの渓流性の魚が生息しており、自然の豊かな地域となっています。

松田川ダム



■容量配分図



■概要

松田川ダムは平成7年度に足利市松田町に建設された洪水調節用ゲートが無い自然調節方式のダムです。洪水調節・既得取水の安定化と河川環境保全等のための流量の確保・水道用水の開発を目的としています。ダムの下流側にはキャンプ場があり、夏場は多くの人が訪れる場所となっています。また、周辺には河川に沿って桜の木が植樹されており、春には観光客の目を楽しませてくれます。